

平成25年度 ISO/TC46/SC9国内委員会第1回委員会
議事録

1. 日時：平成25年7月19日(金)10:00~11:15

2. 場所：シルバーセンター 会議室 A(文京シビックセンター4階)

3. 出席者：

委員長	菅野 育子	愛知淑徳大学 (SC9 リーダ)
委員	柴田 洋子	国立国会図書館電子情報部 (SC9 リーダ補佐)
	原田 智子	鶴見大学
	木俣 洋一	一般社団法人日本出版インフラセンター
	追川 正人	一般社団法人日本音楽著作権協会
	秋元 良仁	凸版印刷株式会社
	畑 陽一郎	一般社団法人日本レコード協会
	駒崎 武一	一般社団法人日本映像ソフト協会
オブザーバー事務局	木元 和宏	一般財団法人日本規格協会
	光富 健一	一般社団法人情報科学技術協会
	鈴木 吉之	同上

(敬称略・順不同)

4. 配布資料：

平成25年度 ISO/TC46/SC9 国内委員会 第1回委員会開催案内

(資料 1) 平成25年度実施計画書

(資料 2) 平成25年度の委員会構成(案)

(資料 3) ISO/TC46/SC9 会議出席報告(菅野委員長)

5. 議事：

議題に入る前に、今年度から事務局となった情報科学技術協会の光富氏、鈴木氏から挨拶があった。また、引継を兼ね、昨年度まで事務局を担当していた日本規格協会からも当面の間オブザーバーとして参加してもらう旨、菅野委員長から報告があった。その後、各委員の自己紹介とともに、国立国会図書館の委員が河合氏から柴田に交代し、今後は同館から電子情報部に所属する職員が担当する旨報告があった。

1) 平成25年度実施計画書 事務局より、資料1に基づき今年度の実施計画について説明があった。

の今年度実施予定の審議及

び投票案件については、事務局から後ほど連絡することとなった。

菅野委員長より、International Library Item Identifier (ILII)の国際提案について、国内における対応は、7/22(月)に開催される本委員会で検討する予定との補足があった。従来対応していたSC4の宮澤委員長にSC9委員として追加登録してもらい、SC4の継続的サポートを受けながらSC9で進めていく想定である。本

委員会での検討結果は、菅野委員長より SC9 メンバーへ後日連絡する。

2) 平成 25 年度 ISO/TC46/SC9 国内委員会について

菅野委員長より、資料 2 の確認とともに、今後も各領域の識別子に関する情報共有の場として活動していく旨発言があった。なお、今年度の委員会は 2 回開催する予定である。

3) ISO/TC46/SC9 総会 (パリ) 状況報告

菅野委員長より、資料 3 に基づき報告があった。主な内容は以下のとおり。

・ ISO/CD17316 International Standard Document Link (ISDL) について

SC9/WG11 における議論の結果、中国が進めている ISDL について、スコープの修正や "International Standard Link Identifier" (ISLI) へのタイトル変更等が決定した。

・ ISO 2108:2005 (ISBN) の改訂について

SC9 の専門家について、日本からの登録を行う予定である。なお、改訂内容の詳細については、9 月に開催される ISBN の年次総会の報告を待つこととなった。

・ ISO 15706 International Standard Audiovisual Number (ISAN) について

関連委員より、ブルーレイへの付与が必須でなくなったこと、米国で映画・テレビ番組を対象とする ID 登録機関として設立された EIDR とのすみ分けについて等補足があった。

・ ISO 27729:2012 International Standard Name Identifier (ISNI) について

生産責任者等の各個人に対して付与される数字 16 桁の識別子である。これにより、著作権管理等が期待される。また、世界中の研究者に一意的識別子を付与する国際組織 ORCID と連携し、相互運用に向けた取組等を目指している。

・ "Principles of Identification" (LCC 作成) について

次回会議で紹介し、ISO White Paper 又は Technical Report にするか検討する予定である。

菅野委員長より、"Roadmap of Identifiers" (BISG 作成) とあわせて、国内委員会の共有ファイル BOX に格納されているか事務局に確認依頼あり。

4) 電子書籍の統一規格に関する状況について

次回委員会で報告する予定。

5) ISO 2108 (ISBN) の JIS 化について

日本規格協会より、現在の進捗状況とともに、残作業について継続して担当する旨報告があった。当該 JIS は今年度の 5 年見直し対象 (廃止又は改正) のため、改正とする。原案については、菅野委員長が加筆された解

説をつけて提出する予定である。

委員会終了後、木元氏から各委員へ原案及び解説の電子ファイルをメールで送付する。

6) その他

主な質疑応答

・ ISLI への名称変更により "Document" が消えた理由は? (原田氏)

現在ではドキュメント全体ではなく部分 (コンテンツ) 間のリンクを対象とすることになったためと考えられるが、詳細は不明である。(菅野委員長)

・ ISAN 及び EIDR の国内普及状況は? (追川氏)

ISAN は国内のブルーレイには比較的付与されているが、コンテンツ作成の大半を占める放送局が自局の ID で事足りているため、登録が進まない状況である。EIDR についても、日本市場での認知が広がらず、普及はまだ先と思われる。(駒崎氏)

・RFID への SC9 対応(資料 3 の 14)とは?(秋元氏)

SC4 にて、RFID の中で標準化すべき点を日本とイギリスが発見したが、今回のパリ会議でイギリスの提案が採用された。日本の提案(ILII)は、当初、図書館の蔵書管理としてのユニークな番号を想定していたが、図書館以外が所有するアイテムへも対象を広げることになると推測される。今後の対応については、来週の本委員会で検討する。(菅野委員長)

確認・連絡事項等

・国内委員会の共有ファイル BOX に格納されている文書を外部に提示・公開する場合は、予め事務局に確認・連絡すること。

・今年度実施予定の審議及び投票案件については事務局から各委員へ連絡する。

・"Principles of Identification"及び"Roadmap of Identifiers"の共有ファイル BOX への格納状況については、事務局が確認後、各委員へ連絡する。